

1. 件名：福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップにおける主要な目標の進捗状況等に係る面談

2. 日時：令和3年1月12日（火）14時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、田上係長、久川係員

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室 担当8名

（ウェブ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき以下について説明があった。

- 除染装置スラッジ抜き出しに関する現在の状況について
- 福島第一原子力発電所1号機燃料取り出し（大型カバー設置）の検討状況
- 福島第一原子力発電所1/2号機SGTS配管の撤去について
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表

○原子力規制庁は、中期的リスクの低減目標マップの主要な目標における今年度の進捗状況について認識を共有するとともに、以下のコメントを行った。

- 除染装置スラッジ抜き出しに関する現在の状況については、廃スラッジ回収施設の設計において、提案元のメーカーでは完了目途が立たず設計先を別のメーカーに変更した理由の詳細を資料に追加すること。
- 1/2号機SGTS配管の撤去については、事故分析と大きく関係するため、必要に応じて、福島第一原子力発電所 廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議においても別途議論することとしたい。

○また原子力規制庁は、中期的リスクの低減目標マップの改訂に際して、原子力規制庁による現地調査等によって判明した2号機シールドプラグ付近の高濃度の汚染状態を新規のリスク低減目標として追加を検討している旨を伝えた。

6. 資料

- 除染装置スラッジ抜き出しに関する現在の状況について
- 福島第一原子力発電所1号機燃料取り出し（大型カバー設置）の検討状況
- 福島第一原子力発電所1/2号機SGTS配管の撤去について

- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）  
を踏まえた検討指示事項に対する工程表

以上